

## [別紙⑥]

### 資料を読む



### (1) 授業の流れ

#### ① 資料を読み、内容を捉える。

- ・ 元気そうな女の子が公園にいる。
- ・ 女の子がどろんこになって遊んでいる。
- ・ 女の子がおじいさんから言われて、悲しい顔になっている。
- ・ 男の子が自転車に乗っている
- ・ 男の子が自転車からこけて、血が出て泣いている。
- ・ お母さんから言われて、考え顔になっている。

#### ② 女の子と男の子のもやもやした心の中を考える。

##### <女の子>

- ・ 外で元気いっぱい遊びたい。
- ・ どろんこになって遊びたい。
- ・ 男の子ははしゃいでいるのに、女の子はだめなの？
- ・ なんで、女の子はおとなしくしないとイケないの？

##### <男の子>

- ・ 男の子でも泣くときはある。
- ・ 中学生になったら強くなればいい。
- ・ 大人になったら泣かないようにすればいい。
- ・ どうして男の子は強くないとイケないの？

### 個人で考える



#### ③ 自分だったら、この2人にどんなことばをかけるか考える

T: みんなだったら、どんなことばをかけてあげますか。

##### <女の子に対して>

C: 大人しくなくてもいいよ。

C: はしゃいでもいいんだよ。

##### <男の子に対して>

C: 男の子でも泣くことがあるよ。

C: 強くなくても、弱い男の子もいいよ。

C: ぼくも自転車を持っていたとき、田んぼに落ちたことがある。乗れるように練習しよう。練習頑張ろう。

C: 大きくなってから強くなったらいいよ。

T: 子どもだから、男の子でも女の子でも、強くなくてもいいってことだね。

C: 自分は自分のままでいい。男の子、女の子関係なくて、泣きたいときに泣いて、はしゃぎたいときにはしゃいだらいい。

T: もう少し詳しく教えて。

C: 周りのことなんて関係なくて、自分は自分のままでいい。

T: おじいちゃんが言った「女の子だから…」とか、お母さんが言った「男の子だから…」って。

C: 関係ない…

C: 大人が考えたこと…

T: そういうのを「決めつけ」と言います。

C: 間違っているかもしれない…

C: 周りになんて言われようとも、自分は自分らしく…

T: 小さいときの話をします。3人兄妹で私だけが女の子でした。3人で遊んでいたとき、おばあちゃんから「洗濯物をたたむから手伝って。」とよく言われていました。どうして私だけなのかなと思いつつながら手伝っていました。

C: その理由を聞かないとあかん。先生のおばあちゃんに理由を聞かないとあかん。

C: 理由が大事。

### ペアで話し合う



### 全体で交流する



⑤ 今日の学習をふり返る。

ワークシート

ワークシート ⑤

どうしてだろう 男の子と女の子のなやみにいてかんがえよう。

女の子は「女の子だからお手伝いをしなさい」と言われる。男の子は「なんで？男の子はしなくていいの。」と思います。性別で決めるなんておかしいと思います。

男の子も悲しいときは泣いてもいいと思います。人それぞれでいいと思います。

今日はこれまでで一番考えました。大人には、女の子だから…こうしないといけない。男の子だから…しないといけないという「決めつけ」があるけど、自分がやりたいことをやればいいと思います。

ワークシート ⑤

どうしてだろう 男の子と女の子のなやみにいてかんがえよう。

女の子は「女の子だからお手伝いをしなさい」と言われる。男の子は「なんで？男の子はしなくていいの。」と思います。性別で決めるなんておかしいと思います。

男の子も悲しいときは泣いてもいいと思います。人それぞれでいいと思います。

今日はこれまでで一番考えました。大人には、女の子だから…こうしないといけない。男の子だから…しないといけないという「決めつけ」があるけど、自分がやりたいことをやればいいと思います。

児童のふり返り

- 「女の子だったらお手伝いをしなさい」と言われると、「なんで？男の子はしなくていいの。」と思います。性別で決めるなんておかしいと思います。
- 男の子も悲しいときは泣いてもいいと思います。人それぞれでいいと思います。
- 今日はこれまでで一番考えました。大人には、女の子だから…こうしないといけない。男の子だから…しないといけないという「決めつけ」があるけど、自分がやりたいことをやればいいと思います。

ワークシート ⑤

どうしてだろう 男の子と女の子のなやみにいてかんがえよう。

女の子は「女の子だからお手伝いをしなさい」と言われる。男の子は「なんで？男の子はしなくていいの。」と思います。性別で決めるなんておかしいと思います。

男の子も悲しいときは泣いてもいいと思います。人それぞれでいいと思います。

今日はこれまでで一番考えました。大人には、女の子だから…こうしないといけない。男の子だから…しないといけないという「決めつけ」があるけど、自分がやりたいことをやればいいと思います。

(2) 板書

2月 1日 曜日

めあて 女の子と男の子のなやみを考えよう。

「おんなのこだったら おとなしくしないと」

どうして、いつも「おんなのこは おとなしくとて、いわれるんだろう？」

男の子は「女の子だからお手伝いをしなさい」と言われる。男の子は「なんで？男の子はしなくていいの。」と思います。性別で決めるなんておかしいと思います。

男の子も悲しいときは泣いてもいいと思います。人それぞれでいいと思います。

今日はこれまでで一番考えました。大人には、女の子だから…こうしないといけない。男の子だから…しないといけないという「決めつけ」があるけど、自分がやりたいことをやればいいと思います。

(3) 授業を終えて

子どもたちは「女の子だったら」「男の子なら」ということばに違和感をもち、「どうしてだろう」と考える登場人物の気持ちを共感的に考えることができていた。子どもから「自分は自分のままでいい」という発言もあり、性別で決めつけず、自分の思いや好きなことを大切にしようとする思いをもっていた。

課題としては、「はしゃいだら服が汚れるから、おじいさんは言うてくれた。」とおじいさんの立場に立って考えていた児童がいたが、その発言を取り上げて深めることができなかった。もやもやしている女の子と男の子にかけることばを考える活動を取り入れたが、二人の悩みを解決するために大人の発言を考え直すこともできたと考える。理由のない決めつけや性差のみによって判断することは、誤りであると気付かせ、さらに深めるための手立てを考えていきたい。また、「子どもだから弱くてもいい。」「大きくなったら強くなればいい。」と考えている児童がいた。大人、子どもという区別も必要のないものであるということを押さえておく必要があった。